

小竹だより

練馬区立小竹小学校 校長 佐藤 正文



令和元年 6月号
No. 539

か ^{かんが} 考えよう なぜ? し ^{しら} 調べよう こ コツコツ ^つ 積み重ね く ^く 繰り返し ^{かえ} が大切
分かった できた うれしい気持ち!

校長 佐藤 正文



【間々田和彦先生の理科実験教室】

私の3年生の時の担任の先生は、スライド映写機を使って、恐竜時代の話がたくさんしてくれました。わくわくしながら映像を見た記憶があります。6年生の時の担任の先生は理科を専門とされていて、白衣が似合う、とても優しい口調で話される先生でした。ご退職後も、子供たちが理科のおもしろさを体験できるように、北の丸公園にある科学技術館で理科実験教室の仕事をされていました。私を理科好きにしてくれた大切な恩師です。

さて、5月28日（火）、子供たちの理科実験教室を全国各地で開催し、現在カンボジア王国王立プノンペン大学教育学部にお勤めの間々田和彦先生に、今年度も5・6年生を対象に実験教室を行っていただきました。小竹小にご縁があり今年で12年目。毎回、子供たちが興味・関心を持ち、楽しい実験を体験しています。

5年生では、「天体を実感しよう!」。地球を90cm、1cm、3mmとして、太陽、月、木星との距離や天体の大きさを「体感」する学習でした。「考える」「確かめる」「操作する」「具体的に言葉で伝えること」が大切であるということ学びました。子供たちには、素敵な「木製の木星」がプレゼントされました。

6年生の授業は、「身近なものでカメレオン実験～身近なものの酸性・中性・アルカリ性を調べよう～」でした。身近な飲み物、うどん、そば、中華麺、こんにゃくなどの食べ物が、どの性質かを考える学習でした。カメレオンのように変化する溶液に集中していました。間々田先生は、子供たちが楽しく、分かるように準備し、指導してくださいました。子供たちの心に残る授業でした。

理科が大好きな子供たちがたくさん育ってほしいと願っています。

先日の児童朝会では、3つの出来事から、「か・し・こ・く」をテーマに話をしました。

- ◆ 学級活動の時間、よりよい学校生活を送るために、こんなクラスにしたい、そのためにはどうしたらよいか、学級目標をみんなで真剣に話し合う姿がありました。
- ◆ 下校途中の児童とのやりとりで「ぼくは、いろいろなことに興味関心があります。歴史が大好きです。」と話してくれました。「学びたい」という意欲ある姿です。
- ◆ 小竹町会の清掃活動の日、本校の児童も大勢参加し、保護者、地域、駅職員の方々と駅周辺をきれいにする地域の美化活動に協力する姿が見られました。

子供たちが「体験」する一つ一つの出来事に「かしこく」なるための種があり、学ぶ楽しさ、すばらしさの花を咲かせていきます。

代表委員会では、いじめをなくすためのポスターを作成しました。「かしこく」から「やさしさ」へ行動の輪が広がるよう学校全体で取り組んで参ります。保護者、地域の皆様のご支援、ご協力、よろしく願いいたします。